

件名 1 公共交通の存続を目指すために。

要旨 1 バス路線の廃止や減便により、低所得者層をはじめ市民にとって、運賃の負担増となる。

- (1) 低所得者層、免許返納高齢者、子育て世代も含め、バスを利用しやすくする取り組みを。
- (2) バスのおでかけチケット・乗り継ぎ割引の復活、通学定期への補助、シニアカー購入補助などでバス利用の機運づくりを。
- (3) 10月には現在の近大病院に行くバスが河内長野市からはなくなるが、その案内はあるのか。また、新しい近大病院に行く推奨コースを広く周知する必要があるのでは。

要旨 2 今までバスを利用していない人もバスを利用したくなる仕組みづくりを。

- (1) マイカー送迎をする通勤・通学者へアンケートを実施するなど、バスを利用していない人の声も聞け。
- (2) 限定版クーポン付きバスチケットの発行は。
- (3) 「モックルM a a S」はどの程度の利用者があるのか。また、その傾向は。補助の継続とPR活動が必要では。(公民館や福祉センターで利用方法の説明を受けることができる仕組みづくりなど)。

件名 2 パブリックコメントで出された「(仮称)河内長野市こどもたちをいじめから守り悩みに寄り添う条例(案)」について、その主旨を問う。

件名 3 公有地の中で放置に近い状態となっている土地はどの程度あるのか。

要旨 1 コミュニティ・プラント施設の跡地など、維持管理に経費がかかるだけとなっている過去の施設は計画的に解消すべきではないか。

要旨 2 緑地の維持管理は市民の要望に応えられているのか。計画的に予算をつけて整備すべきでは。

答弁を要求する理事者

市長並びに関係理事者